

議事録（概要）

会議の名称	第2回羽曳野市空家等対策協議会	
開催日時	平成29年8月3日（木）14時00分～16時00分	
会場	市役所別館3階会議室	
出席 状況	出席	11名
	欠席	0名
会議次第	1 開会 2 議題 （1）羽曳野市空家等対策計画（骨子案）について ①第1章 計画の目的と位置づけ ②第2章 空家等の現状と課題 ③第3章 空家等対策の基本方針と施策の展開 ④第4章 特定空家等への展開 ⑤第5章 計画の推進について （2）その他について 3 閉会	
資料一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 配席図</li> <li>・ 資料1 羽曳野市空家等対策計画（骨子案）</li> <li>・ 資料2 特定空家ガイドライン（抜粋）</li> <li>・ 資料3 今後のスケジュール</li> <li>・ 資料4 議事録（概要）</li> </ul>	
事務局	羽曳野市建築都市開発部住宅課	
<b>会議経過</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会</li> <li>・ 前回欠席の委員の自己紹介がありました。</li> </ul> <p><b>【審議】</b></p> <p>1. 羽曳野市空屋等対策計画（骨子案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より資料1にそって説明</li> <li>・ 計画期間が8年はちょっと長いので、全体のバランスを見て、中間見直しを考えて欲しい。8年を原則としつつ、「4年を目途に見直し」又は「必要があると認めるときに検討を加える」との扱いでもいいのではないか。</li> <li>・ 一部が居住している長屋や共同住宅を計画の対象とするためには条例の制定が必要であり、現状では取り扱いが難しいが、今後の検討課題として明記し、次の見直し時に対応ができるような形で残しておくことは大事である。</li> <li>・ 耐震改修への支援について、堺市のような補助額があれば、改修も進むのではないか。パッケージで出している例もある。厳しいとは思いますが、加算できるのであれば検討いただきたい。金融機関との連携も含めて、民間の使い方も検討いただきたい。</li> <li>・ 空家バンクについて、全国ネット版や大阪府版の運用をふまえて、羽曳野市として</li> </ul>		

も考えていかなければいけない。

- ・不良住宅が多いところは、車が通るのが精いっぱいな地区ばかりのため、行政で手をつけなければいけないが、都市計画的な発想になってしまう。面的な整備や点で攻める所がある。
- ・対策の基本方針と施策の展開が、全体的に総花的になっている。実態調査を踏まえてメリハリをつける必要がある。長期的な計画と短期的な目標は分け、短期でやることを明確にしたほうがいい。まず、空家バンクやリフォーム、利活用、住宅の提供者と需要者の結びつきに重点を置く。次に、老朽住宅への対応が 2 本目の柱になる。
- ・課題と 3 章との連続性を整理したほうがいい。
- ・重点地区や、地域の固有の課題に対するアプローチを踏まえた計画や、優先順位もあってもいい。
- ・特定空家は重要な軸になるため、もう少しきっちりした案が出てから見ていきたい。
- ・目標設定については、国や府の目標指標を参考に設定していく予定である。
- ・計画でカバーできない積み残しを、5 章又は別章で整理するか検討してほしい。今できることと、この先取り組むことを整理したほうがいい。
- ・行政の役割として、空家の前段としての中古住宅市場の活性化や、インスペクション、耐震セミナー等を開く等の住民周知が必要。
- ・データベースの住民への提供について、個人情報との関係をふまえて、検討、整理しておくべき。出せないのか、出せるのかという、線引きはしておく必要がある。

## 2. その他

- ・協議会の傍聴について、今後、個人情報を取り扱う場面も考えられることから、傍聴はしないということと、概要版での議事録公開を考えたい。

## 3. 閉会

以上